

中国海域の航行警報及び航路情報 (No.53)**1. Zhangzhou (漳州) Vessel Traffic System (船舶動静システム、以下 VTS)の運用開始について**

MHSZH (2017) No.2

MSA China 2017 年 1 月 24 日

関係各位

Dongshanwan (東山) 港 VTS、Zhangzhou (漳州) 沿岸 VTS を含めた Zhangzhou (漳州) VTS が Fujian (福建) MSA の認可の下、現地時間 2017 年 3 月 1 日午前 8 時より運用を開始する。

I. Dongshanwan (東山) 港 VTS,

- (I) 管轄サービス海域：Guleitou (古雷頭) 灯台(23°43'43"N, 117°35'04"E) の半径 12 海里、方位 16°から 225°の間。(詳細は Fujian Port VTS Guide for Users の Part 2 参照)
- (II) 適用対象となる船舶：国際航海従事船、危険物運搬船、旅客 50 名以上の旅客船 (フェリーは除く)、曳船作業従事船、操縦性能制限船、その他 300 総トン以上の船舶
- (III) 使用周波数：VHF CH13
- (IV) 使用言語：北京語ないし英語
- (V) 運用時間：00:00 時から 24:00 時 (北京時間)
- (VI) 届出が必要な船舶：Zhangzhou (漳州) VTS へ VHF を使用し以下の事項につき報告が必要:

1. Dongshan(東山)港湾地域、Gulei (古雷) 港湾地および Yunxiao (雲霄) 港湾地域内の位置通報ライン内へ向かう船舶、VTS 位置通報ラインへ接近もしくはそこから離れる船舶

2. VTS 地域内で、係留あるいは離岸する前、投錨もしくは抜錨する前

3. 航行安全に影響がある作業を開始するあるいは完了する時

4. パイロット乗船あるいは下船時

5. その他 VTS に報告すべき状況が発生した時

(VII) 報告内容

本船名(コールサイン)、船籍港 (国籍)、全長、喫水、仕向地、目的地、船種、積載貨物、Zhangzhou (漳州) VTS センターが必要とするその他情報

II. Zhangzhou (漳州) 沿岸 VTS

- (I) 管轄サービス海域 (VTS 地域) : 以下 3 点の位置情報ラインで囲まれた沿岸海域 N4
 (23°30'00"N/117°55'32"E 及び 24°N/118°33'3.84"E の 2 点を結んだライン)、L4(24°N/117°49'25.74"E
 及び 24°N/118°33'3.84"E の 2 点を結んだライン)、L5 (23°36'12"N/117°14'00"E 、
 23°30'00"N/117°14'00"E 並びに 23°30'00"N/117°55'32"E の 3 点を結んだライン)
- (II) 運用対象となる船舶・旅客船、危険物運搬船、操縦性能制限船、その他 300 総トン以上の船舶
- (III) 使用周波数 : VHF CH21
- (IV) 使用言語 : 北京語ないし英語
- (V) 運用時間 : 00:00 時から 24:00 時 (北京時間)
- (VII) 届出が必要な船舶 : Zhangzhou (漳州) VTS へ VHF を使用し以下の事項につき報告が必要:

(VIII)

1. N4、L4、L5 のラインから Zhagbzhou 沿岸 VTS 位置情報ラインへ接近する時
2. 他の海域から Zhagbzhou 沿岸 VTS 位置情報ラインへ接近する時
3. Zhangzhou 港 VTS から Zhagbzhou 沿岸 VTS 位置情報ラインへ接近する時
4. Zhagbzhou 沿岸 VTS 海域で投錨あるいは投錨する前
5. その他 VTS へ報告すべき事態が発生した時

(VII) 報告内容

本船名(コールサイン)、船籍港(国籍)、全長、喫水、最終寄港地、仕向地、船種、積載貨物、Zhangzhou (漳州) VTS センターが必要とするその他情報

FUJIAN MARITIME SAFETY ADMINISTRATION VTS GUIDE FOR USERS

(福建海事局 VTS ガイド)

情報は以下参照

<http://www.msa.gov.cn/html/xinxichaxungongkai/gkml/HXTG/fujian/20170124/A6036E91-A967-4DBF-9EE3-8C03F93827BF.html>

2. 大容量光海底ケーブル「Asia Pacific Gateway(AGP)」、東シナ海 Section S4 での緊急損傷修理作業

HHH (2017) No. 77

MSA China 2017 年 2 月 17 日

- I. 作業期間 : 2017 年 3 月 3 日から 2017 年 4 月 2 日の昼夜作業

II. 作業海域：東シナ海 Dajishan 島東部、以下の 4 点を結んだ海域

- 1) 30°51.7'N/122°20.5'E; 2) 30°52.8'N/122°20.5'E;
- 3) 30°53.1'N/122°32.9'E; 4) 30°52.0'N/122°32.9'E.

III. 作業内容：作業船”CS FU AN”（パナマ籍船、”福安“）（全長 141.5m、型幅 19.4m）AGP の Section S4 のルートに沿った作業海域内で水中ロボットを使用し、損傷箇所確認のための調査、海難対応作業、当該不良ケーブル部分の切断、再接続、埋設、修理作業を行う。作業船は作業期間中投錨はせず、比較的低速で航行する。

IV. 注意事項：

1. 作業船は規則に従い昼夜灯火・形象物を掲揚し、AIS を機能させている。
2. 作業船は当直および見張を強化、VHF16 を聴取し、早期に通知を行う。
3. 付近航行船は作業船から十分に離れ注意して航行すること。
4. 風力 7 以上ないし、視界が 1 海里を下回る場合、作業は中断される。

<http://www.msa.gov.cn/html/xinxichaxungongkai/gkml/HXTG/SHHSJ/20170217/FF96680B-0832-41EA-9315-0B44C013BF76.html>

3. **Haikou Bay**（海口湾）における掘削用プラットフォームサイト“**Kan Tan No.2**”（勘探二号）の錨泊について

QHH(2017) No.2

MSA China 2017 年 2 月 14 日

I. 錨泊船：掘削用プラットフォーム “Kan Tan No.2”（勘探二号）（全長：64.9m、船幅：64.6m、型深さ：8.2m）。

II. 錨泊期間：2017 年 2 月 6 日～ 2017 年 6 月 30 日

III. 錨泊位置：Haikou Bay（海口湾）近海の以下の地点：20°05'28"N / 110°13'58"E.

IV. 注意事項：

1. “Kan Tan No.2”（勘探二号）は、錨泊期間中規則に従い灯火・形象物を掲揚している。夜間は全周灯を点滅しデリック上には紅色灯火を点灯している。
2. 掘削用プラットフォームは錨泊中 AIS を機能させ VHF 16 および VHF08 を聴取している。

3. 掘削用プラットフォームは錨泊中、衝突、火災（爆発）防止ならびに汚染防止のため当直を強化している。

4. 付近航行船は見張りを強化し、安全上錨泊区域への立ち入り避けるために十分注意すること。

<http://www.msa.gov.cn/html/xinxichaxungongkai/gkml/HXTG/hainan/20170214/2D98F90E-61FF-462A-98D4-C5619E258C33.html>

4. PL7-6-5D 油田における油田探査について

JDJHH(2017) No.3

MSA China 2017 年 2 月 13 日

2017 年 2 月 14 日～2017 年 5 月 15 日までの間、油田採掘用プラットフォーム “Hai Yang Shi You 921”（海洋石油 921）、M/V “Sheng Xin Fa”（盛新 Fa）、M/V “Ji Hai 8006”（濟海）ならびに M/V “Hai Yang Shi You 641”（海洋石油 641）は PL7-6-5D 油田（38°45'50.349"N， 120°05'19.668"E）を中心とした半径 500m の区域で採掘作業を行う。作業中、夜間は船体に多数の作業灯のほか、デリック上には紅色のストロボライトと、白色灯火がモールス信号 U（短 2 長 1）を 15 秒同時に点灯し、またそれぞれのプラットフォームの脚注外側にはモールス信号 U を 30 秒間吹聴する霧中信号機が設置されている。作業船は VHF 16 および VHF67 を常時聴取している。

<http://www.msa.gov.cn/html/xinxichaxungongkai/gkml/HXTG/tianjin/20170213/ABE7FBA7-A6D9-448A-BEBF-AD76656F322F.html>

免責事項

以上の航行警報は MSA China または MSA 地方局の公式ウェブサイトに掲載された情報の一部になります。これらの情報や英訳の真実性について Sloma は責任を負いません。以上の航行警報に従った結果損害が発生しても Sloma は責任を負いません。

Junmao Jiang
Sloma & Co.

2017 年 2 月 27 日